

C-2 指導と評価の計画

指導と評価の計画 面積

時間	ねらい	学習活動・課題・留意点（確かな学力を育むために）		評価規準（カッコ内は評価方法） A：十分満足できると判断される状況 C：努力を要する状況の児童への手立て
		G 1	G 2	
1	まわりの長さが同じ長方形や正方形の広さ比べを通して、学習課題をとらえる。また、単位を決めて広さを数値化するよさを知る。	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">どの池が一番広いでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 池の挿絵を見て、どの池が一番広いか話し合う。 広さを工夫して色々な方法で比べる。 さし絵から池を切り取り、広さの比べ方について話し合う。 重ね合わせてはみ出した部分の広さを比べる。 マス目の数を調べて、広さを比べる。 		<p>[関] 面積の求め方に関心を持ち広さの比べ方を工夫する。（行動観察、発言記録）</p> <p>A：広さに関心を持ち、広さの比べ方を積極的に考えようとする。</p> <p>C：見ただけで広さの違いがはっきり分かるものを比べさせ、広さ比べの動機づけをする。</p> <p>[考] 周りの長さと同面積とは違うことに気づき、任意単位を用いて、広さを数値化する方法を考えることができる。（発言記録・ノート）</p> <p>A：重ねあわせをしなくても、広さを数値化して比べる方法を既習を活用して考えることができる。</p> <p>C：マス目の数を数えることで、広さの違いが分かることを確かめる。</p>
2	面積の比較を通して、面積の単位 cm^2 を知り、 1cm^2 を単位にして面積を求めたり、決められた面積を表現したりする。	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">長方形と正方形ではどちらがどれだけ広いでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題文にある長方形と正方形を1目が1cmの方眼紙にかいて、広さを比べる。 広さの単位を知る。 1cm^2を切り抜き量感をとらえる。 1cm^2の個数をもとに面積を求める。 4cm^2の形を方眼紙上に作図をする。 	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">広さを数で表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 広さを数で表して比べられないかを考える。 広さの単位を知る。 1cm^2を切り抜き量感をとらえる。 1cm^2の個数をもとに面積を求める。 決められた面積の図形を方眼紙上で色々に表現する。 	<p>[表] 1cm^2のいくつ分とみて面積を求めたり、かいたりすることができる。（ワークシート、ノート）</p> <p>A：1cm^2のいくつ分とみて、正確に面積を求めることができ、工夫して形を作ることができる。</p> <p>C：1cm^2がいくつあるかを数えることで、広さを表すことを再確認し、反復練習する。</p>
3	長方形・正方形の面積を計算で求める活動を通して公式を理解し、その適用問題が解決できる。	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">面積を計算で求める仕方を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1cm^2の正方形が縦、横にそれぞれ何個並ぶかに注目し全部で何個になるかを考える。 縦の個数×横の個数で面積を求める。 長方形、正方形の面積の公式について理解する。 練習問題をする。 	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">面積のもとめ方を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1cm^2の数を工夫し長方形の面積、正方形の面積の求め方を考える。 長方形、正方形の面積の公式について理解する。 練習問題をする。 	<p>[考] 公式に結びつく考え方ができ、公式を活用して面積を求める方法を考えることができる。（発言・ノート）</p> <p>A：公式に結びつく考え方ができ、公式を活用して的確に面積を求める方法を考えることができる。</p> <p>C：1cm^2のいくつ分を数える際、かけ算を使うと便利であることを押さえ、公式の意味を確かめ、練習問題で繰り返し練習する。</p>
4	長方形の面積を求める公式を活用して、問題を解くことができる。また、面積が同じで形が異なる図を作図する活動を通して、面積の意味の理解を深める。	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">長方形の横の長さを求めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 面積と縦の長さが分かっているときの横の長さの求め方を考える。 縦2cm 面積6cm^2 縦3cm 面積12cm^2 横を□cmとして長方形の面積を求める公式にあてはめてみる。 長方形の面積の求め方の理解を深める。 	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">いろいろな長方形の横の長さを求めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 面積と縦の長さが分かっているときの横の長さの求め方を考える。 長方形の面積を求める公式を活用することに気づく。 長方形の面積の求め方の理解を深める。 	<p>[知] 積の公式の適用題を通して、面積の意味の理解を深めることができる。（発言記録・ノート）</p> <p>A：面積の意味の理解を深めることができ、いろいろな大きさの長方形に活用する方法がわかる。</p> <p>C：長方形の面積を求める公式を活用する練習を繰り返し、縦の長さを決めると横の長さが決まってくることに気づかせる。</p>
5	大きな面積は cm^2 にしては求めづらいことから、 m^2 があることを知り、 m^2 単位で長方形・正方形の面積を求めることができる。	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">1m^2の正方形がいくつ分かを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> レジャーシートの面積の求め方を考える。 1cm^2を単位に考える。 面積の単位m^2を知る。 シートの面積が1m^2いくつ分かを考えよう。 長方形、正方形の面積をm^2単位で求める。 	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">大きな面積のもとめ方を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> シートの面積の求め方を考える。 cm^2よりも大きな単位が作れないか話し合う。 面積の単位m^2を知る。 長方形、正方形の面積をm^2単位で求める。 	<p>[表] 辺の大きさの単位に応じて面積の単位も決まることに気づき大きな面積を求めることができる。（行動観察、ノート）</p> <p>A：大きな単位を用いる必要性に気づき、単位が変わっても的確に面積を求めることができる。</p> <p>C：いつでも1cm^2だけを使っているのは、大きな数字になって、処理が大変であることを実感させ、m^2の必要性を理解させるとともに、かけ算練習を繰り返す。</p>

6	m^2 と cm^2 の単位間の関係を理解するとともに、 $1 m^2$ の量感をとらえる。	<p style="text-align: center;">1 m^2は何cm^2か調べましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ $1 m = 100 cm$であることを思い出す。 ・ 新聞紙で面積が $1 m^2$になる正方形を作り $1 cm^2$と比べる。 ・ m^2とcm^2の関係を理解する。 ・ $1 m^2$の新聞紙を使って、いろいろ調べることで、$1 m^2$の量感を身につける。 		<p>[知] m^2とcm^2の単位間の関係を理解するとともに、$1 m^2$の量感をとらえることができる。(行動観察、ノート)</p> <p>A: $1 m^2$は$1 cm^2$の1万個分の広さであるなど、m^2とcm^2の単位間の関係を理解するとともに、$1 m^2$の量感をとらえ、さらに活用の仕方がわかる。</p> <p>C: グループで作業をさせ、$1 cm^2$のいくつかを考えられるようにする。</p>
7	面積の単位 km^2 を知り、 km^2 と m^2 の単位の関係を理解するとともに、長方形の面積を km^2 を単位として求めることができる。	<p style="text-align: center;">1 km^2は何m^2でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面積の単位km^2を知り、km^2を単位として町の面積を求める。 ・ km^2とm^2の関係を理解する。 ・ 学習したことを身の回りから探す。 	<p style="text-align: center;">1 km^2と1 m^2の関係を調べましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町などの広い土地の表し方を考える。 ・ km^2を単位として土地の面積を求める。 ・ $1 km^2$は何m^2になるかを考える。 	<p>[知] km^2とm^2の単位の関係を理解することができる。(発言、ノート)</p> <p>A: km^2とm^2の単位の関係を理解することができ、身の回りの地域の広さなどにも量感を持ってとらえている。</p> <p>C: 量感がとらえにくいので、写真や地図を手がかりにして実感できるようにする。</p>
8 本 時	複合図形の面積を、工夫して求めることができる。	<p style="text-align: center;">L字型図形の面積の求め方を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長方形の面積の求め方を思い出す。 ・ L字型図形にある長方形を見つけ補助線をひく。 ・ いくつかの長方形の和または差によってL字型図形の面積を求める。 	<p style="text-align: center;">工夫してL字の図形の面積を求めよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ L字型の図形の面積のいろいろな求め方を考える。 ・ どの辺の長さを測ればよいかを考えて面積を求める。 ・ 複合図形の面積を、工夫して求める。 	<p>[考] 求め方に応じて、どの辺を使えばよいかの見通しを持ち、面積の求め方をいろいろと考えることができる。(発言・行動観察・ワークシート)</p> <p>A: 求積する図形に応じてできるだけ効率的な求め方を考えることができる。</p> <p>C: 補助線や方眼シートを利用して、四角形の組み合わせとして考えることができるようにする。</p>
9	長方形と正方形の求積公式を使い、面積を求めることができる。 cm^2 、 m^2 、 km^2 の関係および量感について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長方形、正方形の面積を求める公式を思い出し、公式を使って問題を解く。 ・ $2 cm$方眼に書かれた図の面積では、$4 cm^2$いくつかで考えることを使い問題を解く。 ・ cm^2、m^2、km^2の量感を身近なものの面積から見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長方形、正方形の面積の公式を使って面積を求める。 ・ $2 cm$方眼にかかれた図の面積を工夫して求める。 ・ 身近なものの面積に興味を持ち、量感を養う。 	<p>[表] 長方形と正方形の面積に関する問題を解くことができる。(ノート・プリント)</p> <p>A: 既習内容を理解し、自ら面積に関する問題をつくり、解くことができる。</p> <p>C: 個々のつまずきに対して個別指導する。</p>
10	単位面積のいくつか数えることによって面積を比べられることを復習する。	<p style="text-align: center;">面積の広い方に進みましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ めいろのルールを知り、ます目の個数により広さ比べをする。 ・ 長方形と正方形の面積を求める公式を思い出し、面積の大きさ比べをする。 	<p style="text-align: center;">工夫して面積の広い方に進みましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ます目の数を工夫して数え、個数により面積を数値化し広さを比べる。 ・ 面積の公式を使い面積を求め大小比較する。 	<p>[表] 長方形と正方形の面積を求める公式やます目の個数によって、面積を求め、大小を比較することができる。(ワークシート、プリント)</p> <p>A: 効率的な方法を使い面積の大小比較が的確にできる。</p> <p>C: 問題の確認と公式の確認を行い個別指導をする。</p>
11	補充・発展問題を解くことができる。	<p style="text-align: center;">面積づくりをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一部を切り取り違う場所に移動することで1ます分をつくることができることに気がつく。 ・ $1/2$ます分を利用して、$2 cm^2$になる形をいろいろつくる。 	<p style="text-align: center;">同じ面積になる形をいろいろつくってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ $1/2$ます分などから変形して$1 cm^2$がつかれることに気づく。 ・ 同じ面積になるいろいろな形を方眼紙にかく。 ・ しきつめ模様づくりをする。 	<p>[知] 方眼の数をもとに、面積は単位面積のいくつかで求められることが理解できる。(発言・ワークシート)</p> <p>A: $1 cm^2$などを半分にした形(三角形)の組み合わせを工夫し、いろいろな形の面積の求め方を理解できる。</p> <p>C: 方眼の数を数えるという基本にもどり、考えさせる。図形が点でつながった形を考える児童には、広さを意識付け、面積をとらえさせる。</p>
12	復習問題を解くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長方形や正方形の面積を求める公式を使い、面積を求める。 ・ 面積の単位を思い出し、単位間の関係を復習する。 ・ L字型などの複合図形の面積を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長方形や正方形の面積を求める公式を使い、面積を求める。 ・ 面積の単位間の関係を復習する。 ・ 複合図形の面積を工夫して求める。 	<p>[表] 復習問題を解くことができる。(行動観察、ノート)</p> <p>A: 復習問題を確実に解くことができ、自作問題を解くことができる。</p> <p>C: 個別に指導し、つまずきに対して既習の学習をふり返らせる。</p>